

おこし協力隊等の増員と、大学生等の活力を活かした地域づくりを行い、更なる集落の維持活性化を図ります。

また、地域の担い手の確保として、地域独自の魅力を島外の若者に知ってもらうための島暮らし体験や、新規就農者の雇用促進に向けた就農希望者受入農家への支援及び公民館活動の充実を図り、若者が地域に定着しやすい取組を推進します。

(2) 地域資源を活用した活性化

地域資源に恵まれている本市の強みを活かした独自の施策を展開する必要があります。

そのため、今まで行ってきた佐渡ふるさと島づくり寄附金制度をリニューアルし、感謝の気持ちのお返しや、佐渡に訪れていたただく機会の提供を行うとともに、新たなスポーツイベントの開催により新たなファンの獲得を図ります。

また、魅力ある地域資源を、他の地域に効果的に発信するため、客観的な視点を持ち、専門的なスキルや人脈等を有する外部人材の活用を引き続き行います。

(3) 災害に対応できる安心・安全な地域づくり

本市は離島であるがゆえに、自然災害等に対して脆弱な面があるため、港湾等防災拠点等の整備を始めとす

るハード対策と、市民、地域の「自助」「共助」による活動といったソフト対策の両面からの対策が必要です。

そのため、耐震強化岸壁等の整備を含めた港湾計画の見直しや、地域の拠点となる支所・行政サービスセンターの耐震診断結果等を踏まえた整備、本庁機能の集約化を図るとともに、地域防災リーダーの育成や地域の自主防災組織と連携した防災訓練を実施し、市民が安心して暮らせる地域づくりに努めます。

【産業の振興】

(1) 農林水産業の振興と担い手対策

条件不利地の多い本市では、規模拡大が難しいため高品質・高付加価値戦略と流通への支援及び所得の安定が必要です。

そのため、生物多様性戦略やGIAHSの活用により佐渡米の更なる品質向上と高付加価値化を図ります。競争力強化のため、海上輸送費支援を行い、流通コストの削減を図るとともに、冷蔵保管庫などの整備も含め、生産から貯蔵・流通と供給の一体的な体制を構築します。

また、地域資源を活かした新エネルギーの仕組みを構築するため、COIを始めとした産学官連携による研究調査事業を行い、可能性調査や森林等を活用したバイオマスエネルギー

の利活用の促進及び自然再生エネルギーの可能性を探るベストミックスの策定に取り組みます。

担い手確保対策としては、集落営農組織づくりと里親研修支援制度を推進し、新規就農者の確保を行い、佐渡版戸別所得補償制度の拡充と品質向上策に取り組みむことで、更なる経営基盤強化を目指します。

(2) 資産と観光振興

佐渡は、他に類を見ないほど豊富な観光資源を有する島であることから、多様化する旅行形態に対応し、お客様視点にたった観光スタイルの提案が必要です。

そのため、滞在周遊型観光や顧客満足度向上につながるような旅行商品の推進や、個人型旅行者にも対応した予約サイトの充実を図り、3資産ガイドの活用やガイドのスキルアップ、着地型旅行商品の造成及び地域連携型

観光を促進してきま

した。

これらの取組をより推進し、祭りや郷土料理など、地域の魅力を再

発掘し、より深く交流できるような着地型商品を造成します。

さらに、多様化する顧客ニーズに合わせたアクティビティを提供し、本物の価値ある旅を提案することで顧客満足度の向上を図ります。

あわせて、3資産の関係地域や関係自治体との連携、サミットの開催及び他自治体・企業とのパートナーシップ協定に基づく連携を行うとともに、この春オープンした「あいぽーと佐渡」を活用した観光情報の発信や国際会議等の開催による交流人口の拡大とリピーターの確保を図ります。

加えて、世界遺産登録を目指した受入態勢の整備として、トイレの洋式化や看板表記の改善を行うとともに、北陸新幹線と小木直江津航路の高速カーフェリー就航に対応した島内交通体系の整備を進め、内・外航クルーズ船誘致活動を積極的に展開し、更には新潟・能登との広域連携を促進するとともに、佐渡空港2千メートルの早期事業化に向けた取組を強化するとともに、佐渡新潟航空路の早期再開を目指します。

また、島民一人ひとりの意識の向上と行動をお示しするため、おもてなし条例の制定に向けて取り組んでまいります。

(3) 地産地消の一体的政策

地域資源に恵まれている佐渡は、生

